



学校だより

令和4年12月吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

内から育つ

12月も末になると、「成長したなあ」と思う子どもたちの姿をたくさん見ることが出来ます。大きな声で気持ちのよい挨拶をする姿、優しく低学年の面倒をみている姿、動物や植物の飼育栽培活動に熱心に取り組む姿、掃除活動などに進んで取り組む姿などです。

中には、今までまったくできなかったのに、できるようになった子どももいます。自分から友達に声をかけることができなかったのに、声をかけて一緒に遊ぶことができるようになった子。ほとんど宿題をしなかったのに家で勉強をするようになった子。友達に悪口ばかり言っていたのに言わなくなった子。自分勝手なことばかりしていたのに、みんなのために働こうとする子。大きな成長です。人とよりよく生きていく上で大切なことを感得しています。学校教育に携わるものとして、子どもの成長を支えるものとして、うれしい限りです。

私にもガラッと変わった時があります。小学校5年生の時です。図書室で「冒険者たち」という本を見つけました。辞書のように4cmぐらいの厚みがありました。私は国語が苦手。漢字練習は嫌い。作文は大嫌い。進んで本を読むことなど絶対にしない子どもでした。しかし、本の表紙のイラスト（ネズミが鳥の上に載って飛んでいる絵）が気になって、手に取りました。そして、初めて自分から進んで本を借りました。今まで夏休みなどに先生に指示されたので仕方なく本を借りたぐらいでした。「こんな分厚い本を読んでいるんだぞ」と、家族や友達に見せたかったという下心もあったと思います。あの頃、勉強も運動もできず自尊心が低かったので、少しでも見栄を張りたいかっただけでしょう。読み始めは、1日1ページぐらいしか進みませんでした。ほとんど進まないことが苦痛でした。でも、家族や友達の間も気になり、少しずつ少しずつ読み続けました。1週間、2週間と繰り返し図書室に行って借り直しをしました。段々と物語に引き込まれていきました。また、読んだページが増えていったこと、読むスピードが速くなっていることを実感して、すごくうれしい気持ちになったことを覚えています。1か月ほどして、生まれて初めて自分のお小遣いで本を買いました。図書室に借り直しをすることが面倒だったのはもちろんですが、もう、自分にとって「重要な何か」が変わったからでしょう。結局、2か月ぐらいかかって読み終わりました。達成感と喪失感が入り混じった、初めての感動を体験しました。

その後、本を読むようになったのは言うまでもありません。国語は苦手ではなくなっていました。何より、「自分でやると決めて、自分で最後までできた」という事実は、生活のすべてを変えていきました。「自分はやればできる人」だという確信は、授業にも部活にも積極的に取り組むことにつながりました。「どうせ、できない。頑張っても無駄だ。」と諦めていた自分から、大きく転換するきっかけとなりました。

子どもたちにも「良質な体験」をしてほしいと願っています。誰かに叱られて強制されるのではなく、「自分で決め、自分でやり、自分でできた」という体験です。本来、子どもは「内から育つ」のですから。よりよく自分を成長させていく力をもっているのですから。

子どもたちにとって、楽しく、そして、「内から育つ」冬休みになることを祈っています。

◆教育広報誌「かけはし」について(お知らせ)

県教育委員会にて、教育広報誌「かけはし」53号が作成されました。ぜひご覧ください。
なお、データは新潟県ホームページに掲載してありますので、下記 URL 又は QR コードからご確認ください。

1 「かけはし」53号掲載ページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

2 QRコード



◆1月の予定

1月 10日 (火)	3学期始業式 (午前放課・給食なし)	
11日 (水)	校内書き初め大会(~1/12)	
12日 (木)	スタディー&アウトメディアウィーク③(~1/18)	
16日 (月)	発育測定(~1/19)	
17日 (火)	校内書き初め展(~1/20)	
18日 (水)	授業参観 / PTA役員選出会	
25日 (水)	5年2組校外学習 (JCV) / PTA部長・副部長選出会	
26日 (木)	2年そり教室 (国立妙高青少年自然の家) 5年3組校外学習 (JCV)	
27日 (木)	避難訓練	
2月 2日 (木)	5年1組校外学習 (JCV)	



12月24日 (土) ~1月9日 (月) 17日間の冬休み
12月29日 (木) ~1月3日 (火) 年末年始休業 (閉庁日)

よいお年をお迎えください。